平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名　DOWAホールディングス株式会社　　上場取引所　東 大 名 札 福
コード番号　5714　URL　http://www.dowa.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山田　政雄
問合せ先責任者 (役職名) 企画・広報部門部長　(氏名) 吉井　出　TEL 03-6847-1106

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	188,907	4.3	10,829	△22.9	9,834	△32.5	4,766	△37.0
23年3月期第2四半期	181,049	39.7	14,036	165.9	14,578	205.2	7,570	302.7

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　6,465百万円　(25.2%)　23年3月期第2四半期　5,165百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	16.11	―
23年3月期第2四半期	25.59	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	337,111	117,563	32.6
23年3月期	340,161	113,785	31.4

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　110,060百万円　23年3月期　106,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	10.00	10.00
24年3月期	―	―			
24年3月期(予想)			―	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	390,000	2.7	22,000	△4.0	22,000	△5.9	11,000	29.1	37.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	309,946,031 株	23年3月期	309,946,031 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	13,991,911 株	23年3月期	14,127,561 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	295,876,111 株	23年3月期2Q	295,824,540 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
3. 四半期連結財務諸表 …… 5
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
(4) 継続企業の前提に関する注記 ……12
(5) セグメント情報等 ……12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……13
4. 補足情報 ……14
(1) 生産量比較 ……14
(2) 販売単価比較 ……14
(3) 海外地金相場及び為替相場比較 ……14
(4) (連結)設備投資額及び減価償却費 ……14
(5) (連結)従業員数 ……14

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成23年３月11日に発生した東日本大震災により生産活動が停滞するなど大きな影響を受けましたが、サプライチェーンの回復とともに徐々に生産活動は復旧していきました。一方、世界経済では、中国やインドなど新興国の成長は続くものの、インフレ懸念による金融引き締めや、欧州・米国の財政問題、金融問題が深刻化しています。また円高による輸出環境の悪化など、厳しい状況が続いています。

当社グループの事業環境については、需要面では、東日本大震災の影響で落ち込んだ自動車関連製品が、想定よりも早いペースで回復しました。また電子材料は、サプライチェーンの混乱や半導体関連製品の生産調整の影響を受ける一方で、スマートフォンや多機能携帯端末など需要が拡大した事業領域もありました。相場面では、金属価格が総じて高値圏で推移しましたが、為替は円高基調が継続しました。

当社グループは、このような状況の中、東日本大震災の影響を受けた生産拠点の早期復旧や夏場の電力不足対応など操業の安定化に努め、事業環境の変化に対応してきました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は前年同期比４％増の188,907百万円、営業利益は同23％減の10,829百万円、経常利益は同33％減の9,834百万円、四半期純利益は同37％減の4,766百万円となりました。

主要セグメントの状況は次のとおりです。

環境・リサイクル部門

廃棄物処理は、全体的に顧客の廃棄物排出量が伸び悩む中で集荷ネットワークを強化し増集荷・増処理を図りました。土壌浄化は、不動産取引が低調な中、新規浄化技術の導入や海外案件の受注に努めました。リサイクルでは家電や電子部品の回収が堅調に推移しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比19％増の44,219百万円、営業利益は同10％増の1,322百万円となりました。

製錬部門

金属価格については、歴史的な高値圏まで上昇した金・銀・銅をはじめ、亜鉛・鉛・インジウムなども前年同期より上昇しましたが、９月に入り大幅な価格調整局面を迎えました。

震災の影響で、製錬所のうち小坂製錬㈱、秋田製錬㈱が操業を一時的に停止しましたが、早期に操業を再開し生産量の確保に努めました。また、持分法適用会社の小名浜製錬㈱も操業を再開しましたが、前年同期比では銅の生産量が大きく減少しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比15％減の76,637百万円、営業利益は前期に中間半製品の売却による一時的な収益があったこともあり、同47％減の2,765百万円となりました。

電子材料部門

パソコンや携帯電話などＩＴ関連製品について市場ニーズの実現や、パワー半導体向けの窒化物半導体（ＨＥＭＴ）など新製品の上市や新規顧客の獲得に努めました。需要面では大きな落ち込みはなかったものの、顧客の罹災やサプライチェーンの混乱など、震災の影響を受け、半導体や機能材料の一部製品が減販となりました。

これらの結果、当部門の売上高は、銀などの地金価格が上昇した影響で前年同期比42％増の48,054百万円、営業利益は同25％減の2,977百万円となりました。

金属加工部門

自動車向けなどの端子やコネクタに使われる伸銅品やめっき品は、第１四半期では国内自動車生産が震災の影響で減少したことを受け販売量が減少しましたが、第２四半期に入り急速に回復し前年度並みの水準となりました。一方で半導体向けの伸銅品は需要回復が遅れています。産業機械向けのセラミックス基板は需要が比較的堅調に推移し、また歩留まりの向上や生産性の改善に努めました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比５％増の39,035百万円、営業利益は同16％減の2,270百万円となりました。

熱処理部門

熱処理加工では、第１四半期では国内自動車生産が震災の影響で減少したことを受け受注が減少しましたが、第２四半期には前年度並みに回復しました。このような状況の中、生産効率の高い工場へのシフトを進めるなど生産体制の強化に取り組みました。工業炉は、海外での生産拡大に合わせて新炉の拡販やメンテナンス需要の掘り起こしに努め、売上を増加させました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比19％増の9,266百万円、営業利益は同59％増の921百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3,049百万円減少し、337,111百万円となりました。流動資産で611百万円の減少、固定資産で2,437百万円の減少になります。

流動資産の減少は、現金及び預金残高を圧縮したことにより11,241百万円減少させた一方で、前連結会計年度末に一時的に減少した製品在庫水準を元に戻したことで、商品及び製品が10,832百万円増加したことによります。固定資産の減少は、所有している上場株式の時価が下落したことなどにより投資有価証券が2,818百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度と比較して6,827百万円減少し、219,548百万円となりました。これは主に地金リース残高や未払消費税等の減少によります。

純資産については、当第２四半期（累計）純利益を4,766百万円計上した一方で、配当金の支払により株主資本が1,739百万円増加しました。また、株式の時価評価、デリバティブ取引の時価評価などによりその他の包括利益累計額が1,478百万円増加しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から1.2％増加し32.6％となりました。

② 連結キャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より10,826百万円減少し5,914百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金は133百万円の支出（前年同期比15,240百万円収入減）となりました。税金等調整前四半期純利益8,691百万円に加え、減価償却費8,452百万円等の非資金的費用の調整があった一方でたな卸資産が増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金は9,913百万円の支出（前年同期比1,400百万円支出増）となりました。主に、有形固定資産の取得による支出8,978百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金は945百万円の支出（前年同期比17,710百万円支出減）となりました。主に、有利子負債の借入2,458百万円と配当金の支払3,168百万円によるものです。

なお、有利子負債の増減について、四半期連結貸借対照表と四半期連結キャッシュ・フロー計算書との差異は、為替換算差額の影響によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想については、現在のところ業績が想定した範囲内で推移しているため、平成23年10月14日に公表した通期見通しの変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,231	5,990
受取手形及び売掛金	55,484	51,844
商品及び製品	16,021	26,853
仕掛品	3,980	5,504
原材料及び貯蔵品	59,790	56,735
繰延税金資産	6,605	4,133
その他	8,755	15,877
貸倒引当金	△416	△97
流動資産合計	167,453	166,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	88,581	89,876
減価償却累計額	△47,535	△49,022
建物及び構築物（純額）	41,045	40,853
機械装置及び運搬具	184,381	188,127
減価償却累計額	△150,614	△155,700
機械装置及び運搬具（純額）	33,766	32,426
土地	22,275	22,227
建設仮勘定	5,052	6,721
その他	11,756	12,252
減価償却累計額	△9,795	△10,062
その他（純額）	1,961	2,190
有形固定資産合計	104,101	104,420
無形固定資産		
のれん	6,506	6,255
その他	1,593	1,945
無形固定資産合計	8,099	8,200
投資その他の資産		
投資有価証券	52,315	49,497
長期貸付金	223	254
繰延税金資産	5,542	5,596
その他	2,629	2,426
貸倒引当金	△204	△126
投資その他の資産合計	60,506	57,649
固定資産合計	172,708	170,270
資産合計	340,161	337,111

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,367	32,013
短期借入金	54,290	63,647
未払法人税等	2,732	1,794
未払消費税等	2,156	504
繰延税金負債	―	505
引当金		
賞与引当金	2,831	2,922
役員賞与引当金	158	55
引当金計	2,989	2,978
その他	28,695	22,408
流動負債合計	124,232	123,851
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	73,829	66,860
繰延税金負債	1,888	2,015
引当金		
退職給付引当金	10,637	10,444
役員退職慰労引当金	517	553
その他の引当金	537	509
引当金計	11,691	11,508
その他	4,734	5,313
固定負債合計	102,143	95,697
負債合計	226,376	219,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,437	36,437
資本剰余金	26,362	26,362
利益剰余金	48,152	49,893
自己株式	△5,763	△5,765
株主資本合計	105,188	106,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,024	2,846
繰延ヘッジ損益	△865	2,708
為替換算調整勘定	△2,504	△2,421
その他の包括利益累計額合計	1,654	3,133
少数株主持分	6,942	7,502
純資産合計	113,785	117,563
負債純資産合計	340,161	337,111

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	181,049	188,907
売上原価	153,785	164,542
売上総利益	27,264	24,365
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	1,650	1,461
販売手数料	274	251
役員報酬	688	666
給料及び手当	2,218	2,322
福利厚生費	742	769
賞与引当金繰入額	744	791
退職給付費用	209	238
役員退職慰労引当金繰入額	94	87
賃借料	349	352
租税公課	422	420
旅費及び交通費	634	629
減価償却費	347	362
開発研究費	2,140	2,300
のれん償却額	265	251
その他	2,444	2,629
販売費及び一般管理費合計	13,227	13,536
営業利益	14,036	10,829
営業外収益		
受取利息	66	50
受取配当金	387	335
為替差益	96	－
持分法による投資利益	1,311	－
受取ロイヤリティー	135	325
その他	802	899
営業外収益合計	2,799	1,611
営業外費用		
支払利息	1,157	1,004
為替差損	－	168
持分法による投資損失	－	696
その他	1,100	736
営業外費用合計	2,257	2,606
経常利益	14,578	9,834

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)
特別利益		
補助金収入	14	342
受取保険金	―	22
固定資産売却益	10	17
投資有価証券売却益	38	―
貸倒引当金戻入額	41	―
その他	19	97
特別利益合計	124	480
特別損失		
災害による損失	―	611
投資有価証券評価損	1,107	250
固定資産除却損	136	245
減損損失	59	104
環境対策費	―	13
固定資産売却損	―	3
貸倒引当金繰入額	116	―
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	80	―
その他	175	393
特別損失合計	1,676	1,623
税金等調整前四半期純利益	13,026	8,691
法人税、住民税及び事業税	2,376	1,562
法人税等調整額	1,985	2,100
法人税等合計	4,361	3,663
少数株主損益調整前四半期純利益	8,664	5,027
少数株主利益	1,094	261
四半期純利益	7,570	4,766

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	8,664	5,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,575	△2,146
繰延ヘッジ損益	△290	3,574
為替換算調整勘定	△292	△186
持分法適用会社に対する持分相当額	△341	195
その他の包括利益合計	△3,499	1,437
四半期包括利益	5,165	6,465
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,079	6,245
少数株主に係る四半期包括利益	1,085	219

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,026	8,691
減価償却費	8,530	8,452
減損損失	59	104
のれん償却額	265	251
貸倒引当金の増減額（△は減少）	71	△123
その他の引当金の増減額（△は減少）	△1,703	△187
受取利息及び受取配当金	△454	△386
支払利息	1,157	1,004
為替差損益（△は益）	6	73
持分法による投資損益（△は益）	△1,311	696
固定資産売却損益（△は益）	△10	△14
固定資産除却損	136	245
投資有価証券売却損益（△は益）	△38	－
投資有価証券評価損益（△は益）	1,107	250
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	80	－
売上債権の増減額（△は増加）	2,277	3,242
たな卸資産の増減額（△は増加）	△6,243	△8,998
仕入債務の増減額（△は減少）	3,424	△1,265
未払消費税等の増減額（△は減少）	△2,296	△1,648
その他	△848	△8,731
小計	17,236	1,658
利息及び配当金の受取額	546	2,017
利息の支払額	△1,195	△1,032
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△1,481	△2,777
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,107	△133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△54	394
有形固定資産の取得による支出	△7,374	△8,978
有形固定資産の売却による収入	44	43
投資有価証券の取得による支出	△2	△4
投資有価証券の売却による収入	55	－
関係会社株式の取得による支出	△1,314	△2,666
貸付けによる支出	△435	△464
貸付金の回収による収入	593	484
その他	△24	1,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,512	△9,913

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,616	7,030
長期借入れによる収入	―	7,100
長期借入金の返済による支出	△12,696	△11,671
社債の償還による支出	△7	―
少数株主からの払込みによる収入	27	―
自己株式の取得による支出	△1	△1
自己株式の売却による収入	0	―
配当金の支払額	△3,004	△3,002
少数株主への配当金の支払額	△145	△166
セール・アンド・リースバックによる収入	4	―
リース債務の返済による支出	△216	△234
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,656	△945
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55	△73
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△12,117	△11,066
現金及び現金同等物の期首残高	27,115	16,741
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	164	239
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,162	5,914

（4）継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	環境・リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	23,194	79,003	32,899	37,314	7,780	180,192	857	181,049	―	181,049
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,829	11,409	916	20	0	26,176	4,485	30,662	△30,662	―
計	37,023	90,413	33,816	37,334	7,781	206,368	5,343	211,711	△30,662	181,049
セグメント利益	1,205	5,227	3,949	2,697	579	13,659	97	13,756	280	14,036

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務などを含んでいます。

２　セグメント利益の調整額280百万円には、セグメント間取引消去額337百万円及び未実現利益の調整額△57百万円が含まれています。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	環境・リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	26,167	67,787	46,044	39,021	9,266	188,286	621	188,907	―	188,907
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,052	8,849	2,009	14	0	28,926	3,944	32,870	△32,870	―
計	44,219	76,637	48,054	39,035	9,266	217,212	4,565	221,778	△32,870	188,907
セグメント利益	1,322	2,765	2,977	2,270	921	10,256	76	10,332	496	10,829

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務など、主にグループ間取引を含んでいます。

２　セグメント利益の調整額496百万円には、セグメント間取引消去額406百万円及び未実現利益の調整額90百万円が含まれています。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

該当事項はありません。

決 算 説 明 資 料

(1) 生産量比較

区　分	平成22年度上期	平成23年度上期	増減	平成23年下期計画
電気銅	56,905 t	22,094 t	△ 34,811 t	53,166 t
亜　鉛	65,567 t	63,106 t	△ 2,460 t	90,003 t
電気鉛	5,120 t	5,719 t	600 t	6,319 t
電気金	3,206 kg	3,984 kg	778 kg	4,396 kg
電気銀	148 t	112 t	△ 36 t	184 t

(2) 販売単価比較

区分	平成22年度上期	平成23年度上期	増減
電気銅	645 千円／t	736 千円／t	90 千円／t
亜　鉛	211 千円／t	210 千円／t	△ 1 千円／t
電気鉛	194 千円／t	215 千円／t	21 千円／t
電気金	3,472 円／g	4,060 円／g	588 円／g
電気銀	53,435 円／kg	96,924 円／kg	43,489 円／kg

(3) 海外地金相場及び為替相場比較

区分	平成22年度上期	平成23年度上期	増減	平成23年下期計画
為　替	89.0 円／$	79.8 円／$	△ 9.1 円／$	77.0 円／$
電気銅	323.6 ¢／lb	411.5 ¢／lb	87.8 ¢／lb	317.5 ¢／lb
電気亜鉛	2,020 $／t	2,240 $／t	221 $／t	1,900 $／t
電気鉛	1,991 $／t	2,510 $／t	519 $／t	1,900 $／t
電気金	1,211 $／toz	1,603 $／toz	392 $／toz	1,600 $／toz
電気銀	1,864 ¢／toz	3,848 ¢／toz	1,984 ¢／toz	3,200 ¢／toz

(4) (連結) 設備投資額及び減価償却費

区分	平成22年度上期	平成23年度上期	平成23年度計画
設備投資額	8,253 百万円	8,709 百万円	16,500 百万円
減価償却費	8,530 百万円	8,462 百万円	18,300 百万円

(5) (連結) 従業員数

平成22年９月末	平成23年９月末
4,499 人	4,680 人

(注) 連結ｸﾞﾙｰﾌﾟ外への出向社員及び臨時員を除いています。